「町田市生涯学習推進計画　2014-2018」の総括

町田市教育委員会では、「町田市教育プラン 2014-2018」に基づく生涯学習施策を計画的かつ着実に展開することを目的に、町田市における生涯学習施策の全体像を体系的に示す初めてのアクションプランとして「町田市生涯学習推進計画 2014-2018」を策定し、施策を進めてきました。

推進計画は、「基本目標」、目標の実現に向け取組の方向性を示す４つの「基本施策」、具体的な取組を示す「個別施策」、取組の詳細を示す「実施事業」、「町田市教育プラン 2014-2018」で定めた「重点事業」で構成しています。ここでは５年間を振り返り、計画に挙げたそれぞれの個別施策・実施事業・重点事業の総括を行います。

また、今後の課題と、「町田市生涯学習推進計画 2019-2023」で定める重点的に推進していくべき取組について、基本施策ごとに整理を行います。

なお、経常的な事業については継続して進めていきます。

基本目標　「市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続け、支え合うことができる社会を目指します」

基本施策１　学習機会の提供

個別施策１－１　学習情報の収集及び発信

生涯学習に対する市民の理解、関心が深まるよう、その魅力や意義を様々な方法で発信します。また、市民が自分に合った学習機会にめぐり合えるよう、教養、文化・芸術、スポーツ・レクリエーションなど、幅広い分野の学習情報を収集し、発信します。

指標	現状	目標	成果
情報媒体の数	2媒体 （生涯学習NAVI、 町田市ホームページ）	3媒体 （生涯学習ポータルサイトを追加）	4媒体 （町田市立図書館ホームページ、Twitterを追加）

＜5ヵ年総括＞
生涯学習ポータルサイトの構築にかえて、図書館では独自のホームページを開設するとともに、図書館、文学館ではTwitterによる情報発信を開始しました。また、生涯学習センターでは新たに町田子育てサイトと連携して情報発信に努めました。

個別施策１－２　講座・講演会等の充実

市民が生涯学習に関心をもち、学習活動を始めるきっかけとなるよう、魅力的なイベントや講座・講演会、文化・芸術鑑賞の機会などを提供します。また、市民が必要な知識や技術を得られるよう、社会的課題やライフステージに応じた講座・講演会等を充実します。

指標	現状	目標	成果
募集人数に対する応募者の割合が8割を超える事業の割合（講座・講演会、イベント）	84.2% （自由民権資料館、生涯学習センター、文学館の平均）	90%	83.7%

＜5ヵ年総括＞
子どもから高齢者まであらゆる世代に年間を通じて学習機会を提供できるよう周知を図りました。特に幼児・青少年向け事業では、親と子の交流ひろば事業や夏の平和祈念事業、文学・ことばに関わる講座などを実施しました。定員充足率8割を超える事業の割合は、5年間の実績では2017年度の84.7%が最高で、2018年度は83.7%にとどまり目標を達成することはできませんでした。

個別施策１－３　関連機関と連携した学習機会の充実

市民がより多様な学習機会を得ることができるよう、市役所各部局をはじめ、大学、NPO法人などの関係機関が実施する講座・講演会等の情報を収集し、発信します。さらに、各機関の専門性を活かした講座・講演会等を連携して実施するとともに、連携強化に向けた仕組みづくりを進めます。

指標	現状	目標	成果
事業実施における連携機関数	41団体	50団体	66団体

＜5ヵ年総括＞
市役所各部局をはじめ、市民サークルや大学等と連携して多彩なイベント、講演会、朗読会、ワークショップ等を実施することができ、目標値を達成することができました。また、新たに市の各部署との連携を促進するための連絡会を立ち上げ、大学連携をテーマに「学生との協働、連携ポイント集」を作成し、職員に周知しました。

今後の課題と「町田市生涯学習推進計画 2019-2023」における取組

・学習情報を市民により効果的に届けられるよう、例えば他団体が発行している情報誌との連携を図るなど情報発信の手法について検討する必要があります。

⇒　取組2-1、2-5（※）

・事業アンケートの結果でも、育児に関する悩み・不安の声が聞かれます。家庭教育を支援できるよう、保護者向けの学習機会の提供や環境づくりを引き続き進める必要があります。また、子どもの頃から読書に親しんでもらえる環境づくりを引き続き進める必要があります。

⇒　取組1-1～1-4、2-3、2-6

・多様化する学習ニーズにより幅広く応えられるよう、大学図書館など関係機関との連携をさらに深めていく必要があります。

⇒　取組2-4、4-1、5-1

※各取組の名称は9ページの「取組一覧」をご参照ください。

基本施策２　自主的な学習の支援

個別施策２－１　学習相談の充実

市民が、学習活動を行う中で生じる様々な問題や疑問を解決できるよう、講座・講演会や学習資料の案内、学習方法のアドバイスなどの学習相談機能を充実します。

指標	現状	目標	成果
学習相談において、利用者のニーズに応えられなかった事例の割合	―	10%未満	8%

＜5ヵ年総括＞
図書館では新たにホームページを開設するなど図書案内の充実を図りながら、レファレンスサービスの目標値を上回ることができました。生涯学習センターでは、学習相談件数の数値化や学習情報のデータベースの作成に着手しましたが、学習相談への情報共有は進みませんでした。

個別施策２－２　学習資料の提供

市民が多様な学習資料を利用できるよう、図書や視聴覚資料、地域資料などの収集と提供を行うとともに、リクエストサービスの充実や他市の図書館との相互利用を行います。

指標	現状	目標	成果
リクエスト実現率	―	95%	99.93%

＜5ヵ年総括＞
図書館では、資料購入、他館からの借り入れ、地域資料の収集などを通して目標値を上回りリクエスト実現率をほぼ100%とすることができました。また、鶴川地区協議会主催の「3水スマイルラウンジ」へプログラムの活動支援を行うとともに、関連資料を鶴川駅前図書館内の展示コーナーに随時配置しました。

個別施策２－３　学習の場の提供

市民が学習会や文化・芸術、レクリエーションなどの学習活動を継続的に行うことができるよう、学習室などの貸出を行います。また、学習活動に利用することができる市内の施設の情報を整理して提供します。

指標	現状	目標	成果
貸出施設利用者数	176,570人 （生涯学習センター） 5,026人 （特別教室） 37,597人 （文学館）	現状値の5%増	168,507人 4.8%減 （生涯学習センター） 3,900人 22.4%減 （特別教室） 34,000人 9.6%減 （文学館）

＜5ヵ年総括＞
施設予約システムでの個人登録制度を開始するとともに、代表者の年齢要件を20歳以上から18歳以上に引き下げましたが、利用者数は減少傾向にあります。施設利用率は概ね横ばいで推移しています。なお、施設案内予約システムに掲載している公共施設以外の市内の貸出施設の情報を収集し、提供しています。

個別施策２－４　学習成果を活かす機会の充実

市民相互の学び合いがより活発になり、更に学習が深まるよう、身に着けた知識や技能を広く市民の学習活動に活かすことができる仕組みを充実します。また、新たな学習意欲につながるよう、市民を対象とした学習会や成果発表の機会の支援を行います。

指標	現状	目標	成果
生涯学習ボランティアバンクの利用件数	―	50件	10件

＜5ヵ年総括＞
町内会・自治会やPTAなど各種団体に生涯学習ボランティアバンクの制度を活用してもらえるよう、生涯学習ボランティアが講師となり一日体験講座を継続して開催しました。5年間の実績では2015年度の29件が最高で、2018年度の利用件数は10件にとどまり目標を達成することはできませんでしたが、歴史資料の整理・図書刊行や「まちだ図書館子どもまつり」など市民団体等との共催事業の実施、市民研究員による研究成果（印刷物）の刊行など学習成果の発表機会の支援については、成果を上げることができました。

今後の課題と「町田市生涯学習推進計画 2019-2023」における取組
・地域の課題解決に向けて住民自らが行動できるよう、さらに学習活動を支援していく必要があります。 ⇒　取組3-1、4-1～4-3、4-7、4-8（※） ・より多くの市民に学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、さらなるＰＲ活動を進める必要があります。 ⇒　取組2-5 ・生涯学習ボランティアバンク事業の実施手法や、さらなる普及促進のための取り組みについて検討し、事業を推進する必要があります。 ⇒　取組4-4～4-6 ※各取組の名称は9ページの「取組一覧」をご参照ください。

基本施策３　学習環境の整備

個別施策３－１　学習施設等の充実

市民が快適に学習活動を行うことができるよう、学習施設や設備の適切な維持管理を行います。さらに、利便性が向上するよう、地域図書館の新設や予約資料の受け渡し拠点の拡大、資料貸出手続きの自動化などを進めます。

指標	現状	目標	成果
図書資料の受け渡し拠点の整備	11施設	12施設 （2015年度）	13施設

＜5ヵ年総括＞

新たな地域図書館として、2015年5月に忠生図書館を開館しました※。加えて、図書館全館でICタグを利用したセルフ貸出・返却システムを導入しました。また、子どもセンターぱお分館、成瀬コミュニティセンターで、図書館資料の予約資料受渡サービスを開始しました。

※忠生図書館の開館に伴い、図書資料の受け渡し拠点を忠生市民センターから忠生図書館に移行しました。

個別施策３－２　学習事業の効果的な運営

市民のニーズに応えられる学習事業を推進していくため、利用者や専門家、関係団体などの意見を基に、事業の内容や手法を継続的に検証し、改善に結び付けます。また、相談業務や事業の企画立案、執行、管理が的確に行えるよう、職員の知識や能力の向上を図ります。

指標	現状	目標	成果
計画に基づく事業の 事業評価実施率	―	100%	100%

＜5ヵ年総括＞
生涯学習センター運営協議会や図書館協議会等外部委員による事業評価を全ての事業に対して実施しました。また、事業の見直し等に反映できるよう講座参加者や施設利用者などを対象にアンケートを実施し、事業評価に活用しました。

個別施策３－３　生涯学習の調査・研究

多様化する市民の学習ニーズや社会の変化に対応していくため、新たな学習テーマの発見や学習意欲を喚起する情報発信、学習機会の提供方法、関係機関との連携など、生涯学習の総合的な支援に向けた調査・研究を行います。

指標	現状	目標	成果
調査・研究結果を活用して 実施した事業数	―	5事業	5事業

＜5ヵ年総括＞
調査・研究結果を活用して、下記のとおり5つの事業を実施しました。
①市民研究会との協働による翻刻集※の刊行及び研究発表会の開催（文学館）
②市民研究会との協働による資料翻刻集の刊行及び特別展の開催（自由民権資料館）
③大学のゼミとの合同による研究事業（自由民権資料館）
④他自治体の事例研究をとおして、新たに学び直しを支援する「まなびテラス」（生涯学習センター）
⑤図書館の活用方法を学び、調べ学習を進める「まちだ探・探ゼミナール」（生涯学習センター）

※翻刻集：古文書など崩し字で書かれた文献を活字になおして、一般に読める形式にしたもの。

今後の課題と「町田市生涯学習推進計画 2019-2023」における取組
・大学図書館や地域文庫、まちライブラリーなど本に触れることができる施設が市内の各地域にある利点を活かし、これらの施設と連携して読書活動を推進する必要があります。 ⇒　取組5-2（※） ・今後の社会状況の変化やニーズの多様化を見据えた施設運営、事業の実施手法等について検討する必要があります。 ⇒　取組2-7～2-9、5-5、5-6 ・市民のニーズや社会の変化に対応した学習環境を提供していくために、施策や事業の検証、調査・研究を行い、さらなる改善につなげる必要があります。 ⇒　取組5-1、5-7 ※各取組の名称は9ページの「取組一覧」をご参照ください。

基本施策４　文化資源の保全・活用の促進

個別施策４－１　文化資源の維持管理

土器や、古文書、文学資料など、貴重な文化資源の収集を行い、調査・研究を進めるとともに、古民家、遺跡の改修・整備を行うことで、これらを良好な状態で保存できるよう適切に維持管理を行います。また、伝統芸能などが後世に引き継がれるよう、活動を支援します。

指標	現状	目標	成果
維持管理事業の進捗度	―	・文化財整備事業の完了 ・維持管理事業の継続	・稲荷山遺跡、牢場遺跡の整備完了 ・登録文化財制度導入

＜5ヵ年総括＞
文化資源の保存・整備事業では、国史跡高ヶ坂石器時代遺跡のうち稲荷山遺跡、牢場遺跡の整備工事が完了し、公開しました。古民家保存では、旧荻野家住宅、村野常右衛門生家の保存修理工事が完了し、公開しました。また、現行の指定文化財制度を補完するものとして、2015年4月に新たに登録文化財制度を導入しました。

個別施策４－２　文化資源の魅力の発信

市民はもとより、市外の多くの人が町田の歴史や文化に興味・関心をもてるよう、文化資源を積極的に公開します。さらに、理解が深まるよう、企画展示や講演会を開催します。

指標	現状	目標	成果
文化資源に関する情報の提供先数（延べ数）	―	2014年度比10%増	2014年度比24%増

＜5ヵ年総括＞

文化資源に関する情報を、2014年度の2,329ヵ所と比較して24%増となる延べ2,893ヵ所に提供し、目標値を上回ることができました。また、展示・展覧会等の定期実施のほか、2016年には文学館で開館10周年、自由民権資料館で開館30周年を迎え、これを期に、それぞれ通年で特別イベントを開催しました。

今後の課題と「町田市生涯学習推進計画 2019-2023」における取組

・子どもの頃から町田市の歴史や文化、文学により多くふれてもらえるよう、学校や子どもセンターでの講座や市民センターなどでの展示の実施など、引き続き出張事業を進めていく必要があります。

⇒　取組2-2（※）

・貴重な文化資源を後世に伝えていけるよう、適正な維持管理を継続して行っていく必要があります。

⇒　取組5-4、5-9

・地域への愛着や誇りを育むきっかけとなるよう、地域の文化資源の公開・活用を一層進めていく必要があります。

⇒　取組2-10、3-2～3-8、5-3、5-8

※各取組の名称は9ページの「取組一覧」をご参照ください。

町田市生涯学習推進計画 2019-2023 ／ 取組一覧

施策１　家庭教育を支える環境を整備する			
	取組	1-1	保護者向けの学習機会の充実
		1-2	家庭教育支援の担い手育成・活動支援
		1-3	保育室を利用した家庭教育支援事業の促進
		1-4	親子でことばに触れる機会の充実
施策2　学びのきっかけとなる機会を提供する			
	取組	2-1	学習情報の発信力の強化
		2-2	歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進
		2-3	子ども読書活動の推進
		2-4	学校図書館との連携強化
		2-5	生涯学習施設の利用促進
		2-6	読書普及事業の充実
		2-7	シニア世代向け事業の充実
		2-8	障がい者サービスの充実
		2-9	図書館資料による情報提供機会の充実
		2-10	「町田ゆかりの作家」紹介事業の充実
施策3　学習を“広げる・深める”を支援する			
	取組	3-1	地域の課題解決に向けた学習支援
		3-2	町田の歴史情報の提供
		3-3	「文学の扉」事業の推進
		3-4	文化財の維持・保護・復旧の推進
		3-5	文化財の公開・活用の充実
		3-6	展示事業の充実
		3-7	講座・講演会事業の充実
		3-8	レファレンスサービスの充実
施策4　学習成果を活かす機会を充実する			
	取組	4-1	市民提案型事業の推進
		4-2	協働による研究・発表の推進
		4-3	地域で活動するボランティアの養成・支援
		4-4	学習成果の発表機会の支援
		4-5	生涯学習ボランティアバンク事業の推進
		4-6	障がい者の学習成果を発表する場の充実
		4-7	図書館運営の地域協働化の促進
		4-8	市民の文学活動への支援
施策5　学習を支える環境づくりを進める			
	取組	5-1	支援が必要な人への学習機会の提供
		5-2	本と出会う場所の創出
		5-3	文化財の保存と活用環境の整備
		5-4	歴史・文化資源の調査・研究・保存
		5-5	図書館利用者の利便性の向上
		5-6	地域資料の活用の推進
		5-7	市民のニーズに合った図書館事業の実施
		5-8	町田の文学の継承
		5-9	文学財産の保存

＜実施事業　5ヵ年総括＞

＜達成状況の表記について＞
◎・・・目標水準を上回って達成した　○・・・目標水準を達成した
△・・・目標水準を達成できなった　　―・・・事業実施が困難で滞っている

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
個別施策1-1　学習情報の収集及び発信														
取組1-1-1　学習情報の収集、学習情報データベースの作成														
1-1-1-1	講座・講演会、企画展示などの情報収集事業	拡充	イベント、講座・講演会、企画展示などの開催情報をはじめ、活動団体、人材、学習施設などの生涯学習に関する幅広い情報を収集し、一元的に管理します。	生涯学習センター	年間学習情報収集件数	1,589件	2,500件	2,137件	2,057件	2,134件	1,900件	1,558件	△	町田市内だけでなく近隣自治体の施設パンフレットや催し物情報を収集しましたが、2017年度以降、近隣自治体や大学等による情報発信の減少傾向が見られ、収集件数は減少傾向に転じ、目標値を達成することはできませんでした。
1-1-1-2	総合学習情報データベース作成事業	新規	講座・講演会や団体支援に関する情報、学習施設情報などを集約した「総合学習情報データベース」を作成します。	生涯学習センター	総合学習情報データベースの作成	―	作成（2015年度）	着手	情報収集	―	―	―	―	2014年度に学習情報データベースの作成に着手し、2015年度にイベントや講座・講演会等のチラシやポスターの情報を入力しましたが、2016年度に活用方法及び業務の効率化について検討した結果、インターネットの活用がより効果的であると判断したため、情報入力を中止しました。
取組1-1-2　学習情報の発信														
1-1-2-1	生涯学習ポータルサイト構築事業	新規	講座・講演会、活動団体、人材、学習施設などの生涯学習に関する情報を集めたホームページ（生涯学習ポータルサイト）を構築します。	生涯学習センター	生涯学習ポータルサイトの構築	―	構築完了（2015年度）	―	―	―	既存のサイトとの連携	既存のサイトとの連携	△	生涯学習情報を効果的に発信するため、町田市ホームページの掲載内容を見直すとともに「まちだ子育てサイト」との連携を開始しました。このことにより、子育て世代が家庭教育に関する情報を得ることに繋がりました。また、従前から、発行している町田市講座イベント情報誌「生涯学習NAVI 好き！学び！」は、紙面を改善し配布箇所の見直しを行いました。ポータルサイトの構築とは異なる形となりましたが、上記のように生涯学習情報の充実に努めました。
1-1-2-2	生涯学習NAVI （ナビ）	拡充	市民が参加できる講座・講演会等の情報や、市内各地で行われている学習活動の様子などを紹介する情報誌「生涯学習NAVI 好き！学び！」を発行します。	生涯学習センター	生涯学習NAVIの配布施設数	65施設	100施設	97施設	97施設	97施設	97施設	100施設	◎	年4回にわたり情報誌「生涯学習NAVI　好き！学び！」の作成・配布を行い、継続的に市内や近隣の幅広い分野の学習情報の収集、発信を行いました。また、配布施設を増やすだけでなく、イベント等での配布の機会も増やすことができました。
1-1-2-3	生涯学習普及キャンペーン事業	新規	生涯学習の楽しさや意義、魅力などを、イベント等を通じてわかりやすく伝えます。	生涯学習センター	キャンペーン事業数	―	3件	2件	3件	3件	3件	4件	◎	生涯学習ボランティアバンク1日体験講座の開催や、生涯学習センターまつりにおける体験コーナーの設置に加え、利用者交流会とその関連イベントを開催し、生涯学習の楽しさや意義、魅力などを分かりやすく伝えることができました。
取組1-1-3　学習成果の発表機会の支援														
1-1-3-1	生涯学習センターまつり	拡充	生涯学習センターを拠点に活動する市民団体の活動の成果を、ステージ発表や作品展示を通じて見てもらいます。さらに、体験企画を通じて様々な活動にふれてもらいます。	生涯学習センター	来館者数	1,481人	2,000人	1,426人	1,215人	1,011人	1,125人	1,272人	△	目標値を達成することはできませんでしたが、年に一度の利用団体の成果発表の場として実施することで、利用団体の交流を促進し、また、来館する機会の少ない市民に生涯学習センターを周知することができました。
1-1-3-2	市民研究員研究成果の印刷物の発行	継続	市民研究員による2年間の様々な文学に関わる研究成果を印刷物として発行します。	図書館（文学館）	発行点数	2年ごとに1点（800部）	2年ごとに1点（1,500部）	1点（800部）	1点（500部）	―	3点（700部）	―	◎	市民研究会として「五十嵐浜藻・梅夫研究会」と「児童文学市民研究会」を立ち上げ、その活動成果の印刷物を5点（2,000部）刊行しました。市内外からの問い合わせもあり、研究成果の発信にとどまらず、新たな研究のきっかけを提供できました。
1-1-3-3	市民大学修了者団体の紹介冊子作成事業	拡充	野外フィールドや福祉施設など、様々な場所で活動している市民大学修了生団体の活動を紹介する冊子を発行します。	生涯学習センター	冊子の発行状況	不定期発行	毎年度発行	発行（1,000部）	未発行	発行（800部）	発行（750部）	発行（600部）	○	2015年度を除き、各年度発行することができました。また、作成を通じて、各団体の活性化や新規団体の立ち上げに寄与することができ、市民大学が掲げる「あなたを励まし、地域を育てる」の一助を担いました。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
1-1-3-4	コンサート事業	継続	幅広いジャンルの音楽や、地域で活動する人達の演奏を身近に感じられるコンサートを実施します。	生涯学習センター	年間実施回数（年間延べ来場者数）	6回（789人）	6回（850人）	7回（1,029人）	6回（905人）	6回（853人）	3回（351人）	5回（729人）	○	幅広い世代が楽しめるよう、様々なジャンルのコンサートを開催し、2016年度まで目標値を上回るとともに、ホールの改修を行った2017年度を除く4ヵ年の平均で、目標値を達成することができました。また、次の参加や他の分野への関心へ結びつけるため、生涯学習センターで開催する講座やイベントのチラシなどを来場者に配布し、広く周知を図りました。
取組1-1-4　ブックトークなどによる本の魅力の発信														
1-1-4-1	ブックトーク	拡充	毎回1つのテーマを設定し、それに関連する本の魅力を子どもたちに紹介します。	図書館	ブックトーク年間開催数（年間延べ参加者数）	32回（843人）	35回（1,000人）	34回（987人）	52回（1,456人）	46回（1498人）	54回（1,775人）	49回（1,623人）	◎	各図書館での実施のほか、学校からの依頼により目標を上回る回数の実施が可能となり、多くの児童・生徒に本を紹介することができました。
1-1-4-2	おはなし会	継続	乳幼児、児童、大人を対象に絵本の読み聞かせや語りをします。	図書館、図書館（文学館）	おはなし会開催数（年間延べ参加者数）	422回（9,001人）	422回（9,100人）	423回（8,324人）	486回（8,499人）	518回（8,854人）	475回（8,602人）	599回（9,337人）	◎	各図書館で、対象年齢別の実施、工作つきや英語によるおはなし会など、バリエーションのある内容によって、実施回数を増やしました。 また、文学館では年間を通じて、乳幼児から小学生、大人を対象としたおはなし会を実施しました。いずれの事業も定着してリピーターも多く、文学への興味を喚起することができました。 ただし、図書館のおはなし会では、幼児から小学校低学年の参加者数が減少傾向にあり、実施曜日の変更を検討する必要があります。
1-1-4-3	YA通信	拡充	ヤングアダルト世代が楽しめる新刊本を紹介した冊子を毎月発行し、図書館内で配布するほか中学校、高等学校へ送付します。	図書館	配布学校数	29校	38校（市内全中学校・高等学校）	40校	39校	39校	39校	37校	○	市内の全公立中学、全都立高等学校をはじめ、私立中学校・高等学校等（通信制サポート校を含む）に配布しました。 ※私立校は、中学・高校が同一住所にある場合は1校とカウントしました。
取組1-1-5　各イベントの動画配信														
1-1-5-1	動画配信事業	新規	各種発表会や展示の様子、各市民団体の活動の様子などを生涯学習ポータルサイト等で動画配信します。	生涯学習センター	動画配信の開始	—	開始（2016年度）	—	—	実施	実施	実施	○	2016年度にさがまち学生Clubと協働して生涯学習センターのPR動画を作成し、YouTubeで配信しています。また、生涯学習センター主催のイベント等で適宜動画を上映し、PRを行いました。
個別施策1-2　講座・講演会等の充実														
取組1-2-1　学習活動のきっかけとなる機会の提供														
1-2-1-1	コンサート事業【再掲1-1-3-4】	継続	幅広いジャンルの音楽や、地域で活動する人達の演奏を身近に感じられるコンサートを実施します。	生涯学習センター	年間実施回数（年間延べ来場者数）	6回（789人）	6回（850人）	7回（1,029人）	6回（905人）	6回（853人）	3回（351人）	5回（729人）	○	幅広い世代が楽しめるよう、様々なジャンルのコンサートを開催し、2016年度まで目標値を上回るとともに、ホールの改修を行った2017年度を除く4ヵ年の平均で、目標値を達成することができました。また、次の参加や他の分野への関心へ結びつけるため、生涯学習センターで開催する講座やイベントのチラシなどを来場者に配布し、広く周知を図りました。
1-2-1-2	（仮称）生涯学習体験講座	新規	事前の申込がなくても気軽に参加できる講座・講演会等を実施します。	生涯学習センター	年間実施回数（年間延べ受講者数）	—	3回（100人）	—	5回（157人）	7回（207人）	7回（151人）	8回（284人）	◎	鶴川地区協議会主催の「3水スマイルラウンジ」において、2015年度から共催事業として「まなびのひろば」を実施し、気軽に鶴川地区の歴史や文化を予約なしで学べる講座を行い、毎年度目標値を上回ることができました。
1-2-1-3	親と子の交流ひろば事業	継続	0から1歳の子の保護者を対象に、子どもと一緒に気軽に立ち寄り、参加者同士や地域の子育て支援者と交流しながら、一緒に子育てについて考える場を提供します。	生涯学習センター	年間実施回数（年間延べ参加親子数）	44回（548組）	44回（550組）	48回（774組）	44回（646組）	49回（717組）	46回（672組）	44回（530組）	○	2018年度は8月に開催をしなかったため、目標値を達成することができませんでしたが、2017年度までは毎年度目標値を上回っており、5ヶ年の平均（667組）では目標値を上回ることができました。
1-2-1-4	出張授業	拡充	市内の小・中学生を対象に、文学館内の見学や出張授業などを通じて、文学館の活動や、ことば、町田ゆかりの文学者を紹介します。	図書館（文学館）	年間実施回数（年間延べ参加者数）	2回（155人）	5回（200人）	5回（203人）	3回（116人）	3回（192人）	4回（158人）	2回（41人）	△	目標値を達成することはできませんでしたが、小山田小学校や成瀬台中学校への出張授業は2014年度から毎年行っており、文学の楽しさの発信、町田ゆかりの作家の紹介を継続的に行うことができました。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
1-2-1-5	歴史講座	継続	古文書の読解方法を学ぶ古文書講座や、歴史を自力で学習・研究する能力を身につける自由民権カレッジを開催します。	生涯学習総務課（自由民権資料館）	年間実施回数（年間延べ参加者数）	39回（618人）	39回（990人）	42回（605人）	30回（625人）	36回（698人）	35回（701人）	41回（953人）	○	2014年度及び2018年度では、年間実施回数については目標値を上回ることができました。また、2018年度の参加者数については、年間実施回数を増やしPRしたことにより、目標値の96%を達成することができました。
取組1-2-2　社会的課題や社会状況に対応した講座・講演会等の実施														
1-2-2-1	時事問題講座	拡充	若者の就職難やニート問題、超高齢社会の到来など、変化する社会状況をテーマとした講座・講演会等を実施します。	生涯学習センター	年間実施回数（年間延べ受講者数）	1回（108人）	3回（300人）	1回（81人）	4回（268人）	3回（351人）	6回（589人）	2回（150人）	○	2018年度は目標値に届きませんでしたが、2015年度から複数回を開催し、各種テーマを取りあげることができました。
1-2-2-2	平和祈念事業	拡充	戦争の悲惨さや平和の尊さについて考え、次世代に語り継ぐ機会として、戦時資料の展示や講演会などを実施します。	生涯学習センター	入場者数	772人	1,000人	961人	1,254人	1,249人	1,463人	1,499人	◎	町田及び日本が経験してきた戦争の記憶を振り返るとともに、平和について考える機会とするため、毎年実施しています。プレイベントを開催したり、子ども向けイベント充実させたことにより、2015年度以降は、毎年1,000人を大きく上回る参加者数となりました。
1-2-2-3	障がい者青年学級事業	継続	主に知的障がい者を対象として、音楽、運動、演劇などのグループ活動を通じた社会参加や学習活動の場を提供します。	生涯学習センター	新学級生受け入れ体制の整備	—	継続的受入	2人	1人	2人	3人	4人	○	障がい当事者の学習活動として、「生きる力・働く力の獲得」を目指して、3つの学級で、170名前後の学級生が活動を繰り広げています。新学級生の受け入れは毎年できましたが、ボランティアが不足している状況は変わらず、退級者の数を上回る新たな受け入れはできませんでした。また、応募者全員を受け入れることができず、抽選形式となっています。
1-2-2-4	市民大学事業	継続	人間関係や健康などの生活課題に即したテーマや、福祉や環境などの地域が抱える課題に関するテーマについて、認識を深める講座を実施します。	生涯学習センター	年間講座分野数	8分野	8分野	9分野	9分野	9分野	9分野	8分野	○	“あなたを励まし、地域を育てる”を理念に、2017年度までは9分野、2018年度からは陶芸分野の講座を廃止し、8分野で実施しました。学習内容は、学識者と修了者からなるプログラム委員会で検討し企画しました。修了後も継続的に活動が行えるよう、受講者同士の学び合いや学習のネットワークづくりを促進しました。
取組1-2-3　ライフステージに対応した講座・講演会等の実施														
1-2-3-1	幼児・青少年対象事業	拡充	幼児から高校生を対象に、学ぶことの楽しさを伝え、地域の人達との交流につながるイベントや、「文学・ことば」に関する活動を実施します。	生涯学習センター、図書館（文学館）	年間実施回数（年間延べ参加者数）	19回（1,883人）	20回（2,000人）	8回（574人）	13回（351人）	13回（479人）	30回（659人）	51回（1,102人）	○	年間延べ参加者数は、目標値を達成することはできませんでしたが、年間実施回数は目標値を達成することができました。 生涯学習センターでの夏の平和イベントや、文学館での文学の入り口である「ことば」の響きやリズムを楽しむ乳幼児向け事業、俳句や「ことば」に関する小学生向け事業など、学ぶことの楽しさを伝え、地域の人達との交流につながるイベントや、「文学・ことば」に関する活動を幅広く実施しました。特に乳幼児向け事業では、保護者が一緒に参加することによって、家庭に戻ってからも親子が共に楽しめるきっかけづくりを支援することができました。
1-2-3-2	（仮称）若者企画提案事業	拡充	若年層が自らの興味や特技などを基に、企画や提案、運営に携わる講座やイベントなどを実施します。	生涯学習センター	若年層が企画・運営に携わるイベントや講座の事業数	1事業	5事業	2事業	3事業	4事業	4事業	5事業	○	ひきこもり経験のある若者グループが企画し、当事者・経験者が参加する交流会「ひき町」や、主に町田・相模原地域で活動する学生団体の企画・運営による「学生活動報告会『ガクマチEXPO』」など、若年層が自らの興味や特技などを基に企画や提案、運営に携わる講座やイベントの実施に向けて、積極的な働きかけや支援を行ったことにより、2018年度に目標を達成することができました。
1-2-3-3	家庭教育講座	継続	乳幼児から中学生までの保護者を対象に、子どもの年齢に応じて生じる家庭教育に関する問題をテーマとした講座を実施します。	生涯学習センター	年間実施回数（年間延べ参加者数）	23回（343人）	23回（400人）	34回（602人）	33回（660人）	22回（465人）	20回（531人）	29回（550人）	◎	乳幼児から中学生までの保護者に、よりきめ細やかな学習機会を提供できるよう、講座の受講対象年齢を細分化し、年齢に応じた講座を実施したことにより、目標値を上回ることができました。
1-2-3-4	サロントーク「ちちんぷいぷい」	継続	0から1歳児とその保護者を対象に、文学への入り口であり、コミュニケーションの基本となる「ことば」を一緒に楽しむ活動を行います。	図書館（文学館）	年間実施回数（年間延べ参加者数）	32回（802人）	32回（832人）	30回（989人）	31回（664人）	31回（632人）	32回（691人）	33回（609人）	○	2015年度から開始時間を過ぎての事業への参加を制限したことにより参加者数は減少しましたが、事業実施には適正な人数となり、参加者も落ち着いて事業に集中できるようになりました。兄弟児のいる保護者が、それぞれの子の対象年齢に応じて参加するなどリピーターも多く、参加者からは満足度の高いプログラム内容との評価をいただいています。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
1-2-3-5	現役世代向け講座	新規	就職や職業能力の開発など、現役世代（20から50歳代）の課題に関する講座を実施します。	生涯学習センター	講座の実施	—	実施（2015年度）	4回（84人）	1回（23人）	2回（55人）	12回（344人）	12回（359人）	◎	2014年度から毎年、現役世代（20から50歳代）の課題に関する講座を実施することができました。2016年度から実施している「ひきこもり当事者・経験者交流会」では、毎回平均9名の初参加者があり、居場所の必要性の高さがうかがえました。またこの会を足掛かりに、当事者が団体を組織するよう支援し、2019年度から当事者による自主運営へ移行することができました。
1-2-3-6	ことぶき大学事業	継続	60歳以上の市民を対象に、音楽、歴史、文学など、幅広い分野の連続講座を実施します。	生涯学習センター	年間講座コース数（年間延べ受講者数）	8コース（5,206人）	8コース（5,300人）	8コース（4,447人）	8コース（4,701人）	8コース（4,719人）	8コース（3,854人）	7コース（3,755人）	△	ホール改修工事に伴う講座定員の減少、実施事業数（コース数）の減少により、延べ受講者数も減少し、目標値を達成することはできませんでしたが、2018年度から新たな試みとして、主体的な学習を通して学びの楽しさ、達成感を体験する調べ学習の講座「まちだ探・探ゼミナール」を導入しました。
取組1-2-4　学習成果を地域で活かせる講座・講演会等の実施														
1-2-4-1	家庭教育支援学級事業	継続	地域で家庭教育の大切さを伝え、保護者同士のつながりを作っていく市民グループを対象に、活動するうえで必要となる知識や技能の習得に向けた学習を支援します。	生涯学習センター	年間学級活動団体数	3団体	3団体	4団体	2団体	4団体	6団体	5団体	◎	家庭教育に関して学んだメンバーが地域で活躍できるよう、保育園やひろばで実習を行うなど、活動するうえで必要となる知識や技能の習得に向けた学習を支援し、活動団体数を増やすことができました。
1-2-4-2	市民大学事業【再掲1-2-2-4】	継続	地域社会における課題を見つけ出し、それらの解決に向けて行動するために必要な知識を提供する各種講座を実施します。修了後も継続的に活動が行えるよう、受講者同士の学び合いや学習のネットワークづくりを促進します。	生涯学習センター	年間講座分野数（年間修了者数）	8分野（652人）	8分野（5年累計3,500人）	9分野（569人）	9分野（606人）	9分野（452人）	9分野（548人）	8分野（508人）（5年累計2,683人）	○	年間修了者数の累計では目標を達成できませんでしたが、“あなたを励まし、地域を育てる”を理念に、2017年度までは9分野、2018年度は8分野で講座を実施しました。学習内容は、学識者と修了者からなるプログラム委員会で検討・企画し、修了後も継続的に活動が行えるよう、受講者同士の学び合いや学習のネットワークづくりを促進しました。
1-2-4-3	おはなしボランティア養成講座	継続	市内各図書館を中心に地域で活躍するおはなしボランティア及び乳幼児おはなしボランティアを養成する講座を実施します。	図書館	年間開催回数（年間延べ受講者数）	7回（15人）	7回（5年累計75人）	9回（42人）	9回（43人）	9回（42人）	9回（34人）	9回（36人）（5年累計197人）	◎	養成講座の年間延べ受講者数（5年累計）は197人となり、目標値を大幅に上回ることができました。また、フォローアップ講座にも多くの参加があり、修了者数は80人を超えました。
1-2-4-4	サロントーク「ちちんぷいぷい」ボランティア養成講座	継続	サロントーク「ちちんぷいぷい」でボランティアとして活動するうえで必要となる技術・心構え等を身に付ける講座を実施します。	図書館（文学館）	年間開催回数（年間延べ受講者数）	2回（56人）	2回（5年累計300人）	2回（28人）	2回（64人）	2回（84人）	1回（39人）	1回（34人）（5年累計249人）	△	2017年度からは外部講師を招いての研修は1回となりましたが、ボランティア同士の研鑽の場として内部で自主研修を行っています。5年間の累計は249人ですが、2015年度からは市内の他の図書館で活動しているボランティアも参加できるように広く周知し、学習の機会を提供しました。
1-2-4-5	生涯学習ボランティアスキルアップ講座	継続	生涯学習ボランティアバンク登録者を対象に、自身の知識や技能をより効果的に伝える技術を身につけるための講座を実施します。	生涯学習センター	年間開催回数（年間延べ受講者数）	—	1回（50名）	1回（20名）	1回（29名）	—	—	—	△	2014年度と2015年度は、「講座を企画する際のポイント」、「効果的なチラシ作り」など、生涯学習ボランティアの実践的なスキルアップを目的とした講座を開催しました。2016年度以降は、そうした講座の開催にかえて、演習を通して生涯学習ボランティアの技能や生涯学習ボランティアバンクの制度を分かりやすく伝える1日体験講座の開催に注力し、ボランティアのスキルアップを図りました。
1-2-4-6	講座・講演会支援事業	拡充	市民団体等が会員以外の市民にも参加を呼びかけて実施する講座・講演会の開催を支援します。	生涯学習センター	年間延べ参加者数	3,471人	4,200人	3,375人（50講座）	3,135人（44講座）	1,891人（38講座）	2,329人（34講座）	—	△	講師人材の派遣費用を助成する支援から、講座の企画運営ノウハウの提供など、より学習活動が深まる支援を行う市民参画型の事業「講座づくり★まちチャレ」の導入に伴い、社会教育関係事業講師派遣制度は2017年度をもって終了しました。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
個別施策1-3　関係機関と連携した学習機会の充実														
取組1-3-1　学習情報の収集、学習情報データベースの作成【再掲】														
1-3-1-1	講座・講演会、企画展示などの情報収集事業【再掲1-1-1-1】	拡充	イベント、講座・講演会、企画展示などの開催情報をはじめ、活動団体、人材、学習施設などの生涯学習に関する幅広い情報を収集し、一元的に管理します。	生涯学習センター	年間学習情報収集件数	1,589件	2,500件	2,137件	2,057件	2,134件	1,900件	1,558件	△	町田市内だけでなく近隣自治体の施設パンフレットや催し物情報を収集しましたが、2017年度以降、近隣自治体や大学等による情報発信の減少傾向が見られ、収集件数は減少傾向に転じ、目標値を達成することはできませんでした。
1-3-1-2	総合学習情報データベース作成事業【再掲1-1-1-2】	新規	講座・講演会や団体支援に関する情報、学習施設情報などを集約した「総合学習情報データベース」を作成します。	生涯学習センター	総合学習情報データベースの作成	—	作成（2015年度）	着手	情報収集	—	—	—	―	2014年度に学習情報データベースの作成に着手し、2015年度にイベントや講座・講演会等のチラシやポスターの情報を入力しましたが、2016年度に活用方法及び業務の効率化について検討した結果、インターネットの活用がより効果的であると判断したため、情報入力を中止しました。
取組1-3-2　学習情報の発信【再掲】														
1-3-2-1	生涯学習ポータルサイト構築事業【再掲1-1-2-1】	新規	講座・講演会、活動団体、人材、学習施設などの生涯学習に関する情報を集めたホームページ（生涯学習ポータルサイト）を構築します。	生涯学習センター	生涯学習ポータルサイトの構築及び稼動	—	構築及び稼動（2015年度）	—	—	—	既存のサイトとの連携	既存のサイトとの連携	△	生涯学習情報を効果的に発信するため、町田市ホームページの掲載内容を見直すとともに「まちだ子育てサイト」との連携を開始しました。このことにより、子育て世代が家庭教育に関する情報を得ることに繋がりました。また、従前から、発行している町田市講座イベント情報誌「生涯学習NAVI 好き！学び！」は、紙面を改善し配布箇所の見直しを行いました。ポータルサイトの構築とは異なる形となりましたが、上記のように生涯学習情報の充実に努めました。
1-3-2-2	生涯学習NAVI（ナビ）【再掲1-1-2-2】	拡充	市役所各部局や、大学、専門学校などが実施する講座・講演会等の情報を集めた情報誌「生涯学習NAVI 好き！学び！」を発行します。	生涯学習センター	情報を掲載する大学・専門学校数	13校	15校	9校	10校	10校	8校	10校	△	大学、専門学校等が集まるイベントや学校に出向き、情報誌の配布・紹介を行いましたが、目標値を達成することはできませんでした。
1-3-2-3	生涯学習普及キャンペーン事業【再掲1-1-2-3】	新規	様々な機関と連携して、生涯学習の楽しさや意義、魅力などについて、イベント等を通じてわかりやすく伝えます。	生涯学習センター	キャンペーン事業数	—	3件	2件	3件	3件	3件	4件	◎	生涯学習ボランティアバンク1日体験講座の開催や、生涯学習センターまつりにおける体験コーナーの設置に加え、利用者交流会とその関連イベントを開催し、生涯学習の楽しさや意義、魅力などを分かりやすく伝えることができました。
取組1-3-3　関係機関との連携による講座・講演会、企画展示の実施														
1-3-3-1	大学連携事業	拡充	大学や専門学校と連携し、各校の専門性や資源を活かした多様な学習機会を提供します。	生涯学習総務課（自由民権資料館）、生涯学習センター、図書館、図書館（文学館）	年間事業連携学校数	7校	13校	5校	7校	6校	5校	4校	△	目標値を達成することはできませんでしたが、大学や専門学校と連携して、歴史資料の整理・解読作業や合同研究、市民向けの講座の開催など、各校の専門性や資源を活かした多様な学習機会を提供することができました。
1-3-3-2	さがまちカレッジ事業	拡充	暮らしに役立つ内容や、身近な話題をテーマとした様々な講座を、さがまちコンソーシアムとの共催により実施します。	生涯学習センター	連携講座の年間実施回数（年間延べ受講者数）	11講座（152人）	15講座（200人）	12講座（395人）	15講座（423人）	15講座（468人）	15講座（699人）	17講座（350人）	◎	当初は生涯学習センターのみを会場としていましたが、市民センターでの開催や、各子どもセンターとの共催により、年間実施回数及び年間延べ受講者数ともに、目標値を上回ることができました。
1-3-3-3	文化講演会事業	継続	民間団体や市役所各部局と連携し、魅力的なテーマの講演会を定期的に開催します。	図書館	連携団体数	3団体	3団体	5団体	3団体	6団体	4団体	3団体	○	民間団体や市役所各部局と連携し、多彩なテーマの講演会を定期的に開催することができました。2018年度の連携団体数は3団体でしたが、各年度において目標値を達成し、2016年度は最多の6団体と連携して講演会を開催することができました。
取組1-3-4　関係機関との連携による読書普及活動の実施														
1-3-4-1	学校図書館支援貸出事業	拡充	全小・中学校への巡回による学校図書館支援貸出制度を確立します。	図書館	利用学校数（年間貸出冊数）	52校（5,800冊）	55校（6,000冊）	54校（3,598冊）	55校（3,901冊）	55校（3,830冊）	59校（3,768冊）	62校（3,972冊）	△	貸出冊数は達成できませんでしたが、2018年度は市内全小・中学校62校の利用登録がありました。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
1-3-4-2	地域文庫等との連携事業	拡充	地域文庫をはじめとする読書に関わる各種団体に、資料や情報、施設等を提供します。	図書館	団体数（年間貸出冊数）	183団体（22,371冊）	190団体（23,000冊）	202団体（17,712冊）	199団体（17,967冊）	200団体（17,922冊）	204団体（17,819冊）	209団体（19,334冊）	△	貸出冊数は達成できませんでしたが、200団体を超える登録がありました。
取組1-3-5　市役所各部局との連携事業の実施														
1-3-5-1	学習資源の相互活用	拡充	市役所内の各部局がもつ人材情報や学習会場、情報媒体などを相互利用することで、より効果的に学習機会を提供します。	生涯学習センター	事業実施における年間連携部局数	4部局	10部局	4部局	3部局	3部局	2部局	2部局	△	部局数は目標水準を達成することができませんでしたが、各子どもセンターや保育園と連携してイベントや講座を開催するなど、施設数としては累計で20施設と事業を実施することができ、より効果的に学習機会を提供することができました。
1-3-5-2	第三次町田市子ども読書活動推進計画事業	継続	町田市子ども読書活動推進計画を策定し、市役所各部局と連携しながら各取組を推進します。	図書館	計画の策定	検討中	策定（2015年度）	策定	（事業完了）				◎	「第三次町田市子ども読書活動推進計画」を2014年度に策定し、2015年度から関係各課と連携を図りながら実施しました。2018年度には、「第四次町田市子ども読書活動推進計画」の策定に着手しました。
取組1-3-6　連絡調整組織の設置														
1-3-6-1	連絡調整組織の設置	新規	学習機会を提供する関係機関が相互に課題や情報を共有し、連携・協力による事業を展開するための連絡調整組織を設置します。	生涯学習センター	連絡調整組織の設置	—	設置（2015年度）	—	設置	（事業完了）			◎	2015年度に、市役所各課のイベント、講座等の担当者を対象とする生涯学習連絡会(お悩み解決LABO)を立ち上げました。また、2017年度には、大学（学生）との連携・協働をテーマとして連絡会を開催し、その成果物として「学生との事業連携ポイント集」を作成しました。
個別施策2-1　学習相談の充実														
取組2-1-1　学習情報データベースを活用した学習相談の実施														
2-1-1-1	学習相談事業	拡充	相談内容に応じ、学習に関する様々な情報や、学習を進めるうえで必要となる知識やノウハウなどを提供し、市民の学習が円滑に行われるよう支援します。	生涯学習センター	学習相談対応件数	176件	400件	166件	220件	232件	—	—	―	2017年度に活用方法及び業務の効率化について検討した結果、相談件数の入力は中止しましたが、相談内容の情報共有については課内会議等で継続して行っています。
2-1-1-2	総合学習情報データベース作成事業【再掲1-1-1-2、1-3-2-1】	新規	講座・講演会や団体支援に関する情報、学習施設情報などを集約した「総合学習情報データベース」を作成し、学習相談に活用します。	生涯学習センター	総合学習情報データベースの作成	—	作成（2015年度）	着手	情報収集	—	—	—	―	2014年度に学習情報データベースの作成に着手し、2015年度にイベントや講座・講演会等のチラシやポスターの情報を入力しましたが、2016年度に活用方法及び業務の効率化について検討した結果、インターネットの活用がより効果的であると判断したため、情報入力を中止しました。
取組2-1-2　図書案内、レファレンスサービスの充実														
2-1-2-1	図書案内	継続	貸出サービスの中で利用者の問い合わせに確実に応え、利用者が希望の資料、コーナーにたどり着けるよう案内します。	図書館	案内サービスの充実	—	充実	新ホームページの開設	案内件数73,332件	案内件数70,501件	案内件数69,046件	案内件数76,159件	◎	新ホームページの開設や、ICタグの導入に伴うフロアでの利用者対応要員の確保、フロアや書架表示の追加など、利用者が求める資料にたどり着けるよう、随時工夫しました。
2-1-2-2	レファレンスサービス	継続	必要となる資料や情報を検索し提供することで、利用者が行う調査・研究等を援助します。	図書館	レファレンス回答率	—	90%	94.1%	94.0%	94.5%	98.3%	95.9%	◎	5ヵ年でレファレンス連絡票を調製した1,526件のレファレンスに対し、1,459件の回答を行い、回答率は95.6%となり、目標値を上回ることができました。
取組2-1-3　生涯学習センター、図書館の連携による総合学習相談の実施														
2-1-3-1	総合学習相談事業	新規	生涯学習センターがもつ講座・講演会等の学習情報や図書館がもつ図書資料情報、相談内容の情報などを共有し、多様な学習相談に対応します。	生涯学習センター、図書館	総合学習相談の開始	—	開始（2016年度）	—	—	—	—	—	―	生涯学習センターがもつ講座・講演会等の学習情報や図書館がもつ図書資料情報、相談内容の情報などの共有について検討しましたが、学習情報データベースを構築することができなかったため、実施することができませんでした。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
個別施策2-2　学習資料の提供														
取組2-2-1　図書館資料の貸出・閲覧、リクエストサービスの充実														
2-2-1-1	図書館資料貸出サービス	継続	収集した図書資料の貸出を行います。	図書館	市民一人当たりの年間貸出冊数	9.68冊	10冊	8.53冊	9.64冊	9.11冊	8.51冊	8.35冊	△	特集コーナーの設置や各種イベントの実施など、貸出につながる工夫を行いましたが、貸出冊数は減少してしまいました。
2-2-1-2	リクエストサービス	拡充	資料購入、他館からの借り入れなどを通じて、市民の求める資料を確実に提供します。	図書館	リクエスト実現率	—	95%	99.92%	99.99%	99.93%	99.94%	99.95%	◎	資料購入、他館からの借り入れ、地域資料の収集などを通じて、リクエスト実現率をほぼ100%とすることができました。
取組2-2-2　生涯学習資料閲覧サービスの充実														
2-2-2-1	講座・講演会等資料閲覧サービス	新規	講座・講演会等で使用した資料を館内掲示や生涯学習ポータルサイトを通じて閲覧できるようにします。	生涯学習センター	資料掲示の開始	—	開始（2015年度）	—	—	—	—	—	―	生涯学習ポータルサイトの構築が実現できず、サービスを開始できませんでした。
取組2-2-3　デジタルコンテンツの充実														
2-2-3-1	図書館ホームページの整備・充実	拡充	図書館の利用方法やイベント情報などを分かりやすくするとともに、資料の検索・予約サービスの向上を図ります。	図書館	ホームページのリニューアル	—	実施（2014年度）	ホームページのリニューアルの実施	ホームページアクセス数 1,292,360件	ホームページアクセス数 1,209,592件	ホームページアクセス数 1,178,259件	ホームページアクセス数 1,181,269件	○	ホームページのリニューアル実施以降、2018年度までの平均ホームページアクセス数（延べ回数）は、1,215,370件でした（1日平均3,327件）。更新については、広報まちだの掲載日に合わせて行うペースを維持しました。また、2017年3月からTwitterを運用し、ホームページと合わせて情報発信をしました。
2-2-3-2	生涯学習ポータルサイト構築事業【再掲1-1-2-1、1-3-2-1】	新規	講座・講演会、活動団体、人材、学習施設などの生涯学習に関する情報を集めたホームページ（生涯学習ポータルサイト）を構築します。	生涯学習センター	生涯学習ポータルサイトの構築	—	構築完了（2015年度）	—	—	—	既存のサイトとの連携	既存のサイトとの連携	△	生涯学習情報を効果的に発信するため、町田市ホームページの掲載内容を見直すとともに「まちだ子育てサイト」との連携を開始しました。このことにより、子育て世代が家庭教育に関する情報を得ることに繋がりました。また、従前から、発行している町田市講座イベント情報誌「生涯学習NAVI 好き！学び！」は、紙面を改善し配布箇所の見直しを行いました。ポータルサイトの構築とは異なる形となりましたが、上記のように生涯学習情報の充実に努めました。
2-2-3-3	動画配信事業【再掲1-1-5-1】	新規	各種発表会や展示の様子、各市民団体の活動の様子などを生涯学習ポータルサイト等で動画配信します。	生涯学習センター	動画配信の開始	—	開始（2016年度）	—	—	実施	実施	実施	○	2016年度にさがまち学生Clubと協働して生涯学習センターのPR動画を作成し、YouTubeで配信しています。また、生涯学習センター主催のイベント等で適宜上映し、PRを行いました。
取組2-2-4　市民団体等への資料・情報提供サービスの実施														
2-2-4-1	地域活動支援事業	新規	地域の課題解決に取り組む団体に対し、レファレンス機能を活かして資料や情報の提供を行います。	図書館	支援の実施	—	段階的実施	—	3回実施	12回実施	12回実施	13回実施	○	地区協議会の活動等が盛んな鶴川地域での地域支援を行ってきました。今後もこの活動を継続すると共に他の地域での支援を検討していきます。
取組2-2-5　他市の図書館との相互利用協定														
2-2-5-1	他市の図書館との相互利用協定	継続	京王沿線6市（八王子市、府中市、調布市、日野市、多摩市、稲城市）と相模原市、川崎市と協定を継続します。	図書館	相互利用貸出点数（町田市民が他市の図書館から借りた資料の点数）	224,319点	225,000点	224,416点	195,960点	175,119点	174,601点	164,315点	△	相互利用貸出点数は目標値を達成することができませんでしたが、各市との協定を継続し、相互利用が円滑に進むよう京王線沿線6市とは、館長クラスによる連絡協議会、相模原市とは実務者レベルの相互利用連絡会を開催しています。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
個別施策2-3　学習の場の提供														
取組2-3-1　生涯学習センター、文学館の学習室などの貸出														
2-3-1-1	施設貸出事業	拡充	市民の学習活動の会場として、生涯学習センター及び文学館の学習室などの各施設を貸出します。	生涯学習センター、図書館（文学館）	年間施設利用率	77%（生涯学習センター） 58.9%（文学館）	85%（生涯学習センター） 65%（文学館）	79%（生涯学習センター） 58.7%（文学館）	78%（生涯学習センター） 60.4%（文学館）	78%（生涯学習センター） 59.5%（文学館）	78%（生涯学習センター） 59.5%（文学館）	76%（生涯学習センター） 55.7%（文学館）	△	【生涯学習センター】 この5ヵ年は、2014年度の79%から76%の間で微減となりました。2017年度からは、個人でのシステム登録も可能となりましたが、施設利用率はほぼ横ばいであり、特に夜間利用を伸ばすことが課題です。 【文学館】 2017年度までは2012年度の現状値と比べほぼ横ばいの利用率で推移していましたが、2018年度の利用率が減少し、目標を達成することができませんでした。
2-3-1-2	施設利用要件の見直し	新規	施設の貸出対象などの利用要件を見直します。	生涯学習センター、図書館（文学館）	利用要件の変更	－	利用要件の緩和	—	利用要件の見直し	利用要件の検討	利用要件の緩和実施		○	大学生など若年層の利用拡大を図るとともに、インターネットを活用した予約が多数を占めていることを踏まえて、2017年度に、団体登録の代表者の年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げるとともに、個人登録も行えるようにしました。これにより、利用要件の緩和という目標を達成し、利便性の向上を図りました。
取組2-3-2　小・中学校の特別教室の開放														
2-3-2-1	特別教室開放事業	継続	本町田小学校、木曽境川小学校、小山ヶ丘小学校、鶴川中学校の特別教室を開放し、市民団体に貸出します。	生涯学習センター	利用登録団体数	41団体	60団体	40団体	44団体	41団体	42団体	38団体	△	団体登録数はほぼ横ばいで、目標を達成することはできませんでしたが、登録団体においては定期的・継続的な利用があります。
取組2-3-3　市内の利用可能な施設情報の収集及び提供														
2-3-3-1	貸出施設情報の収集事業	拡充	学習活動の場として利用できる市内の貸出施設の情報を収集します。	生涯学習センター	利用可能な貸出施設の情報件数	56件（施設案内予約システム掲載施設）	300件	284件	284件	284件	284件	323件	○	2018年度末時点で、施設案内予約システム掲載施設が56件、町内会館・自治会館及び公営住宅に設置されている集会施設等が267件となっています。
2-3-3-2	総合学習情報データベース作成事業【再掲1-1-1-2、1-3-1-2、2-1-1-2】	新規	施設情報や、講座・講演会、団体支援などの生涯学習に関する情報を集約した「総合学習情報データベース」を作成し、情報提供や学習相談に活用します。	生涯学習センター	総合学習情報データベースの作成	—	作成（2015年度）	着手	情報収集	—	—	—	―	2014年度に学習情報データベースの作成に着手し、2015年度にイベントや講座・講演会等のチラシやポスターの情報を入力しましたが、2016年度に活用方法及び業務の効率化について検討した結果、インターネットの活用がより効果的であると判断したため、情報入力を中止しました。
個別施策2-4　学習成果を活かす機会の充実														
取組2-4-1　生涯学習ボランティアバンクの充実														
2-4-1-1	生涯学習ボランティアバンク事業	拡充	学習活動を行うサークルや市民団体などに生涯学習ボランティアを紹介します。	生涯学習センター	年間生涯学習ボランティア紹介件数	1件	50件	21件	29件	23件	16件	10件	△	町内会・自治会、市民団体、マンション管理組合、介護老人保健施設、高齢者支援センター、中学校PTA、学童保育クラブ、保育園など、多くの団体に生涯学習ボランティアを紹介しましたが、目標水準を達成することはできませんでした。
2-4-1-2	生涯学習ボランティアバンク普及促進事業	新規	生涯学習ボランティアを講師とした体験講座を実施します。	生涯学習センター	1日体験講座の受講者数	—	300人（2015年度）	150人	189人	112人	178人	148人	△	2014年度から累計で53講座を開催し、受講者数は延べ777人に達しましたが、目標水準を達成することはできませんでした。
2-4-1-3	生涯学習ボランティアスキルアップ講座【再掲1-2-4-5】	新規	生涯学習ボランティアバンク登録者を対象に、自身の知識や技能をより効果的に伝える技術を身につける講座を実施します。	生涯学習センター	年間開催回数（年間延べ受講者数）	—	1回（50名）	1回（20名）	1回（29名）	—	—	—	△	2014年度と2015年度は、「講座を企画する際のポイント」、「効果的なチラシ作り」など、生涯学習ボランティアの実践的なスキルアップを目的とした講座を開催しました。2016年度以降は、そうした講座の開催にかえて、演習を通して生涯学習ボランティアの技能や生涯学習ボランティアバンクの制度を分かりやすく伝える1日体験講座の開催に注力し、ボランティアのスキルアップを図りました。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
取組2-4-2　市民団体等との共催事業の実施														
2-4-2-1	市民協働事業	拡充	市内の歴史研究市民グループと協働で、歴史資料の整理や図書刊行を行います。また、市民グループの研究発表を協働企画展として開催します。	生涯学習総務課（自由民権資料館）	市民協働企画事業実施数	2件	3件	3件	3件	5件	3件	5件	◎	解読作業を継続して実施し、作業完了後には図書として刊行することができました。また、2016年度には町田自由民権カレッジ卒業生による協働企画展とシンポジウムを開催するなど、毎年度目標値を達成し、2016年度と2018年度については目標値を上回ることができました。
2-4-2-2	まちだとしょかん子どもまつり	継続	おはなし会、ブックトーク等の活動をしている市民団体と共催でイベントを行います。	図書館	参加団体数	10団体	10団体	14団体	15団体	18団体	20団体	17団体	◎	実行委員会に参加して活動する団体は年々増加しました。図書館まつりは例年3月下旬の土日とその前の数日に行っており、春分の日が近いので実施日数が少なくなる時もありましたが、1日あたり400人程の市民が来館されるようになりました。
2-4-2-3	市民団体共催事業の実施	拡充	市民団体との共催で、語り読みなどの文学に係る事業を実施します。	図書館（文学館）	年間共催事業実施件数	6件	8件	4件	5件	6件	6件	8件	○	2014年度から着実に共催事業を増やすことができました。3事業は定例事業として定着し、リピーターも増えています。共催事業は、市民団体が蓄積した技能や知識を活かす場となっているとともに、文学館としてもバラエティに富んだ事業を市民に提供できる機会となっています。
取組2-4-3　学習成果の発表機会の支援【再掲】														
2-4-3-1	生涯学習センターまつり 【再掲1-1-3-1】	拡充	生涯学習センターを拠点として活動する市民団体に、日頃の活動の成果を広く市民に発表する機会を提供します。	生涯学習センター	参加団体数（来館者数）	57団体（1,481人）	65団体（2,000人）	49団体（2,444人）	47団体（2,192人）	46団体（1,830人）	53団体（1,125人）	46団体（1,272人）	△	目標値を達成することはできませんでしたが、年に一度の利用団体の成果発表の場として実施することで、利用団体の交流を促進し、また、来館する機会の少ない市民に生涯学習センターを周知することができました。
2-4-3-2	市民研究員研究成果の印刷物の発行 【再掲1-1-3-2】	継続	市民研究員による2年間の様々な文学に関わる研究成果を印刷物として発行します。	図書館（文学館）	年間発行点数	2年ごとに1点	2年ごとに1点	1点（800部）	1点（500部）	—	3点（700部）	—	◎	市民研究会として「五十嵐浜藻・梅夫研究会」と「児童文学市民研究会」を立ち上げ、その活動成果の印刷物を5点（2,000部）刊行しました。市内外からの問い合わせもあり、研究成果の発信にとどまらず、新たな研究のきっかけを提供できました。
2-4-3-3	市民大学修了者団体の紹介冊子作成事業 【再掲1-1-3-3】	継続	野外フィールドや福祉施設など、様々な場所で活動している、市民大学の修了生団体の活動を紹介する冊子を発行します。	生涯学習センター	冊子の発行状況	不定期発行	毎年度発行	発行（1,000部）	未発行	発行（800部）	発行（750部）	発行（600部）	◎	2015年度を除き、各年度発行することができました。また、作成を通じて、各団体の活性化や新規団体の立ち上げに寄与することができ、市民大学が掲げる「あなたを励まし、地域を育てる」の一助を担いました。
2-4-3-4	コンサート事業 【再掲1-1-3-4、1-2-1-1】	継続	年1回フレッシュコンサートを開催し、前年度に近隣の大学・大学院を卒業した音楽家に対し、演奏を市民に披露する機会を提供します。	生涯学習センター	出演者数	6人	6人	7人	6人	8人	8人	6人	○	年1回フレッシュコンサートを開催し、前年度に近隣の大学・大学院を卒業した音楽家に対し、演奏を市民に披露する機会を提供しました。
個別施策3-1　学習施設等の充実														
取組3-1-1　学習施設の設備の修繕、備品の整備														
3-1-1-1	施設修繕事業	継続	生涯学習センター、中央図書館が入居する複合ビルの計画的な施設修繕を行います。	生涯学習センター、図書館	5年間の進捗度	—	100%	20%	40%	60%	80%	100%	○	5年間で計画していた施設の修繕について、ほぼ完了しました。
3-1-1-2	備品の修繕・整備	継続	老朽化した備品を計画的に整備します。	生涯学習総務課、生涯学習総務課（自由民権資料館）、生涯学習センター、図書館、図書館（文学館）	5年間の整備の進捗度	—	100%	20%	40%	60%	80%	100%	○	5年間で計画していた備品の修繕・整備について、ほぼ完了しました。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
取組3-1-2 （仮称）忠生図書館の整備														
3-1-2-1	（仮称）忠生図書館整備事業	新規	忠生地域に（仮称）忠生図書館を整備し開館します。	図書館	（仮称）忠生図書館の開館	実施設計完了	開館（2015年度）	開館準備	開館	（事業完了）			○	2015年5月1日、忠生図書館を開館しました。
取組3-1-3 ICタグの導入、予約資料受け渡し拠点の拡大														
3-1-3-1	ICタグ導入事業	新規	ICタグを導入し、自動貸出などのサービスを提供します。	図書館	ICタグ導入、自動貸出機稼動	—	自動貸出の実施（2014年度）	自動貸出の実施	（事業完了）				○	図書館情報システムの更改の根幹となるICタグを導入し、セルフ貸出機等を2015年3月5日から稼動させてサービスを開始しました。
3-1-3-2	成瀬コミュニティセンター予約資料受け渡し拠点整備	新規	成瀬コミュニティセンターの改築にあわせ予約資料受け渡し拠点を整備します。	図書館	受け渡しの開始	—	受け渡しの開始（2015年度）	—	未実施	受け渡しの開始	（事業完了）		◎	2016年7月1日の成瀬コミュニティセンターのリニューアルオープンに合わせ、予約資料受け渡しサービスを開始しました。2016年度の受け渡し冊数は5,012冊、2017年度は7,702冊、2018年度は8,174冊で年々増加しています。
取組3-1-4 図書・視聴覚資料の充実、地域資料のデジタルアーカイブ化の推進														
3-1-4-1	図書・視聴覚資料収集事業	継続	一般書はもとより専門書や児童書、外国語資料、CD、DVDなどの多様な分野の資料を、地域の実情や利用動向を踏まえて収集します。	図書館	蔵書更新率	4.60%	6.80%	4.41%	3.43%	2.90%	2.75%	2.97%	△	目標値を達成することはできませんでしたが、図書館として必要な資料、長く利用できる資料を厳選し、寄贈資料の積極的な受け入れや古い資料の除籍を行うなど、資料の更新を行いました。
3-1-4-2	地域資料のデジタルアーカイブ化推進事業	新規	地域資料が積極的に活用されるよう、デジタルアーカイブ化を推進します。	図書館	イメージデータ作成点数	—	50,000点	対象資料の選定	業務仕様書の作成	情報収集、業務仕様書の修正	情報収集、業務仕様書の修正	情報収集、対象資料の見直し	―	資料の具体的なデジタル化をすることはできませんでしたが、デジタル化予定の資料について見直し、優先順位をつけました。
個別施策3-2 学習事業の効果的な運営														
取組3-2-1 PDCAサイクルによる事業計画の立案及び評価の実施														
3-2-1-1	学習事業の評価	拡充	専門家の意見や、事業の参加者数、利用者アンケートなどを基に、実施事業が目的に合った効果を得られたかを評価します。	生涯学習センター、図書館、図書館（文学館）	事業評価を実施する施設数	8施設	10施設	9施設	9施設	10施設	10施設	10施設	○	【生涯学習センター】 生涯学習センター運営協議会において事業評価を実施し、評価に基づいた事業運営に努めました。 【図書館】 図書館事業計画に基づく外部評価を図書館協議会により行いました。「図書館評価」としてHPに公表しました。（8施設　各年度計5回） 【文学館】 2015年度、2016年度、2018年度は町田市民文学館運営協議会において事業評価を受けました。2014年度、2017年度については運営協議会が設置されなかったため、生涯学習推進計画に基づき参加者のアンケート等で市民ニーズを把握しつつ、PDCAサイクルを徹底し事業の検証・改善に努めました。
3-2-1-2	実施事業の適正化	継続	事業評価の結果を基に、評価の高い内容の充実や問題点の改善を図り、市民が参加しやすい事業を計画・立案します。また、必要性が薄れた事業の縮小・廃止などを行い、事業の適正化を図ります。	生涯学習総務課、生涯学習総務課（自由民権資料館）、生涯学習センター、図書館、図書館（文学館）	事業評価結果を反映させた事業計画	—	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○	各施設とも事業評価を実施し、改善点を整理して、次年度に反映させました。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
取組3-2-2　利用者アンケートの実施														
3-2-2-1	参加者・利用者アンケート	継続	学習事業の評価に活用しやすいよう、項目や収集方法などを見直し、講座参加者や施設利用者などを対象にアンケートを行います。	生涯学習センター、図書館、図書館（文学館）	アンケートを実施している施設数	全施設	全施設	2施設（生涯学習センター、文学館）	全施設	2施設（生涯学習センター、文学館）	2施設（生涯学習センター、文学館）	2施設（生涯学習センター、文学館）	○	【生涯学習センター】 講座受講者や生涯学習NAVI読者を対象にアンケートを実施し、事業の見直し等に活用しました。 【図書館】 2015年度に図書館8館で利用者アンケートを行いました。調査報告書としてまとめ、事業の見直し等に活用しました。 【文学館】 市民ニーズを把握するため毎年アンケートを実施し、充実した事業の実現と事業の見直しに活用しました。
取組3-2-3　司書、社会教育主事相当の知識をもつ職員の養成														
3-2-3-1	図書館職員研修	継続	図書館内で研修運営委員会を組織し、図書館の各種業務についての研修を毎月実施します。	図書館	図書館職員への年間研修回数	12回	12回	11回	11回	12回	12回	10回	△	システムの更改や研修カリキュラムの見直しを行った関係で、研修を実施できない月もありましたが、内容については同程度を維持できました。
3-2-3-2	社会教育主事相当の知識をもつ職員の養成	拡充	国立教育政策研究所や大学が実施する社会教育主事講習等の講習に、新たに配属された職員を中心に派遣します。	生涯学習センター	正規職員に占める社会教育主事相当の知識をもつ職員の割合	25%	50%（2016年度）	38%	24%	29%	25%	31%	△	社会教育主事任用資格を得るための講習期間が約1か月と長期にわたり、年間に複数の職員を派遣することが困難なことや、資格を有する職員が人事異動により転出することもあり、最終年度の割合は31%でした。原則として、新たに配置された職員は社会教育主事講習を受講することとしています。
個別施策3-3　生涯学習の調査・研究														
取組3-3-1　新たな生活課題、社会的課題の調査・検討														
3-3-1-1	市政要望、市政懇談会の分析	新規	市民から寄せられた市政要望や市政懇談会の会議議事録の内容を集計、分析し、新たな学習テーマを検討します。	生涯学習総務課、生涯学習センター	分析の実施	—	隔年度実施	—	—	—	—	—	―	事例数が少なく、新たな学習テーマを検討するまでにはいたりませんでした。
3-3-1-2	大学のゼミとの合同研究事業	新規	市内の大学で生涯学習・社会教育を専攻しているゼミまたは研究室と合同で、新たな生活課題、社会的課題について研究します。	生涯学習総務課、生涯学習総務課（自由民権資料館）、生涯学習センター、図書館、図書館（文学館）	研究テーマ数	—	1テーマ/年	1テーマ	1テーマ	1テーマ	1テーマ	1テーマ	○	自由民権資料館において、大学のゼミと合同で、近代地域社会について研究しました。
取組3-3-2　世代別学習ニーズ調査の実施														
3-3-2-1	世代別学習ニーズ調査事業	新規	幅広い世代への調査を行い、世代別の学習ニーズを把握します。	生涯学習総務課、生涯学習センター	調査の実施	—	実施	—	—	—	実施	（事業完了）	○	2017年度に市民3,000人を対象とした市民意識調査を実施し、今後の事業の企画・立案、情報発信を検討するうえでの基礎資料となるデータを整理しました。習得する知識や技能の活かし方や、学習情報の入手先などについて年代別に傾向の違いを把握しました。
取組3-3-3　関係機関が提供する学習機会の状況調査の実施														
3-3-3-1	学習機会の状況調査	新規	近隣の大学や民間、NPO法人などが実施している生涯学習に関する事業の概要や手法などについて調査を行います。	生涯学習総務課、生涯学習センター	調査の実施	—	実施	実施	実施	（事業完了）			○	2015年度にかけて、学識経験者や生涯学習関係団体代表、学校関係者等で構成される生涯学習審議会において、生涯学習行政の今後の方向性についてご意見をいただきました。その過程において、近隣の学習施設の視察や他機関での学習事業についてのヒアリングなどを実施し、審議に反映させました。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
取組3-3-4　先進事例の研究														
3-3-4-1	他自治体などの事例研究事業	新規	他自治体を中心に、先進的な生涯学習支援の取組を調査します。	生涯学習総務課、生涯学習センター	研究の実施	—	実施	実施	実施	（事業完了）			○	2015年度にかけて、都内を中心とする近隣自治体を対象として「生涯学習・社会教育および地域活動に関するアンケート」を実施し、地域の課題解決に向けた市民活動の支援につながる生涯学習施策のあり方について検討しました。また、東京都市町村社会教育委員連絡協議会のブロック研修会の中で、「自分が住む地域を好きになるための生涯学習の取組」について情報交換を行いました。
個別施策4-1　文化資源の維持管理														
取組4-1-1　遺跡の整備、古民家の復元移築、修理														
4-1-1-1	高ヶ坂遺跡整備事業	継続	日本で最初に発見された敷石住居で国史跡（文化財）に指定された高ヶ坂石器時代遺跡の保存のため、発掘調査及び整備等を行い、遺跡公園として市民に公開します。	生涯学習総務課	高ヶ坂石器時代遺跡整備完了	保存管理計画策定	高ヶ坂石器時代遺跡整備完了・公開	整備工事基本設計作成	整備実施設計作成、整備工事着手	稲荷山遺跡整備工事完了、八幡平遺跡整備工事着手	牢場遺跡整備工事実施、覆屋建替え工事完了	八幡平遺跡整備工事実施、牢場遺跡用地購入	△	高ヶ坂石器時代遺跡は、牢場・稲荷山・八幡平の各遺跡で構成されていますが、牢場遺跡、稲荷山遺跡の整備工事を完了し、八幡平遺跡の整備工事に着手しました。
4-1-1-2	古民家保存事業	継続	明治維新や自由民権運動の契機となった江戸時代末期の蘭学等の私塾と医院・住宅を兼ねた建物である旧荻野家住宅と、町田の自由民権運動家である細野喜代四郎が愛用した書斎を修繕・再築します。	生涯学習総務課	・旧荻野家住宅の保存修理工事 ・細野喜代四郎書斎の再築工事の完了	・（旧荻野家）耐震診断実施・補強計画作成 ・（細野家）再築予定地の地盤調査	・（旧荻野家）2016年3月再公開 ・（細野家）2019年3月公開	旧荻野家住宅実施設計作成、改修工事着手	旧荻野家保存修理工事の完了	村野家実施設計作成、工事着手	村野家保存修理工事完了	古民家の活用	△	旧荻野家住宅・新たに加えた村野常右衛門生家の保存修理工事を完了しましたが、細野喜代四郎書斎の再築事業には着手できませんでした。
4-1-1-3	史跡保存事業	継続	9基の横穴墓が並ぶ都内でも貴重な都指定史跡（文化財）西谷戸横穴墓群が、震災・風水害等により崩落が続いているため、現状調査及び復旧整備工事を行います。	生涯学習総務課	復旧整備工事の完了	史跡の現況測量完了	2017年3月再公開	保存管理計画策定完了	整備工事実施設計作成、整備工事着手	整備工事完了	（事業完了）		○	西谷戸横穴墓群の整備工事は計画どおりに完了しました。なお、下三輪玉田谷戸横穴墓群は整備事業に着手しました。
取組4-1-2　自由民権資料館の史料の収集及び整理・保管														
4-1-2-1	自由民権資料館史料探索・所在調査事業	継続	市域に埋もれたままになっている史料を発見・調査します。	生涯学習総務課（自由民権資料館）	未調査・未整理史料の探索・所在調査の継続	訪問調査実施	広報等で新規に情報提供を呼びかけ訪問調査を実施（2回）	4回	3回	4回	2回	3回	◎	ホームページや広報等で情報提供を呼びかけを行い毎年2回から4回の調査を行いました。
4-1-2-2	自由民権資料館史料整理事業	継続	史料の整理を進めて、活用可能な状態を維持しながら保管していきます。	生涯学習総務課（自由民権資料館）	史料の整理・保管作業の継続	4,800点（年間）	25,000点（5年間）	10,841点	9,694点	4,905点	14,489点	12,200点 【5年間】52,129点	◎	2016年度については、開館30周年事業の実施に伴い、処理点数は減りましたが、その他の年度については計画的に実施できたため、5年間で52,129点の史料を整理することができました。
取組4-1-3　文学資料の脱酸・補修、複製の作成														
4-1-3-1	文学資料の脱酸・補修	拡充	貴重な文学資料の脱酸・補修処理を行います。	図書館（文学館）	脱酸・補修処理した資料の点数（累計）	166点	712点（累計）	23点	4点	12点	10点	10点 【累計】225点	△	5ヵ年で59点の貴重資料の修復・脱酸処理作業を行ないました。累計で225点の資料を修復・脱酸処理作業を行ないましたが、目標には到達しませんでした。
4-1-3-2	文学資料の複製作成	継続	文学館所蔵の文学資料、市の保有していない借用した文学資料の複製作成を行います。	図書館（文学館）	複製作成された文学資料の点数	40点	45点	—	—	—	—	—	―	文学資料の購入に注力した結果、新たな複製資料作成の発注は行いませんでした。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
取組4-1-4　無形民俗文化財の保護、担い手の活動支援														
4-1-4-1	無形民俗文化財保護育成補助金交付事業	継続	町田市指定無形民俗文化財の指定を受けている継承団体（お囃子や獅子舞の保存会など）が地域行事等で行う演舞等の活動に対し、係る経費の一部を補助します。	生涯学習総務課	町田市指定無形民俗文化財の継承団体の維持数	5団体	5団体	5団体	5団体	5団体	5団体	5団体	○	町田市指定無形民俗文化財の保持団体5団体に育成補助金を交付しました。
取組4-1-5　（仮称）登録文化財制度の制定														
4-1-5-1	（仮称）町田市登録文化財制度の制定	新規	町田市文化財保護条例の指定文化財制度よりも選定の基準を広げ、より多くの文化資源を保護対象にすることができる（仮称）町田市登録文化財制度を制定します。	生涯学習総務課	（仮称）町田市登録文化財制度の制定及び施行	（仮称）町田市登録文化財制度についての課題抽出	2015年3月制度施行	関係法規改正	2015年4月制度施行	制度運用	制度運用	制度運用	○	町田市登録文化財制度を施行し、3件の文化財を町田市登録有形文化財として登録しました。
個別施策4-2　文化資源の魅力の発信														
取組4-2-1　考古資料室の土器・石器等の文化財の公開														
4-2-1-1	「考古資料展」開催事業	拡充	自由民権資料館の企画展示室やイベントスタジオなどで、考古資料室に収蔵している土器・石器等の考古資料を展示します。	生涯学習総務課	「考古資料展」開催回数	0回	5回（5年間）	3回	4回	4回	3回	4回 【5年間】18回	◎	「まちだ今昔展」「町田にあった古代の窯跡」など、5年間で延べ18回、考古資料展を実施しました。
取組4-2-2　遺跡や古民家の公開														
4-2-2-1	文化財公開事業	新規	町田市所有の遺跡の発掘現場見学会や古民家保存修理工事関連の公開イベントなど多くの市民が興味をもてるような企画を実施します。	生涯学習総務課	実施イベント数	—	3回	2回	7回	6回	4回	4回	◎	「旧荻野家住宅公開」「高ヶ坂遺跡見学会」など、5年間で延べ23回、公開事業を実施しました。
4-2-2-2	文化財活用事業	新規	文化財に指定されている遺跡・古民家を市民に公開していますが、より文化財を市民に広く周知するために、公開情報をホームページ等により市民に発信するとともに、文化財説明板を新規に設置します。	生涯学習総務課	新規設置件数	—	25基	老朽化分交換5基	0基	老朽化分交換2基	0基	新規設置1基 老朽化分交換1基	△	計画期間中に文化財説明板の新規設置は1基でしたが、老朽化した説明板8基を交換し、遺跡や古民家の整備状況をホームページに掲載するなど、情報発信に努めました。
取組4-2-3　自由民権資料や文学資料の企画展示、講演会の開催														
4-2-3-1	自由民権資料館展示事業	拡充	収集及び整理した市域の史料を中心に常設展示の他、企画展示を開催します。	生涯学習総務課（自由民権資料館）	企画展年間観覧者数	2,400人	4,000人	5,374人	4,985人	4,287人	3,317人	3,786人	△	2016年度からは展示回数を4回から3回に減らしたため、企画展の観覧者数も減少し目標を達成することができませんでした。
4-2-3-2	自由民権資料館講演会事業	拡充	館内外の講師が企画展示に関するテーマで、講演会を行います。	生涯学習総務課（自由民権資料館）	講演会の年間実施回数	3回	4回	4回	4回	5回	7回	6回	◎	外部の講師による講演会の実施だけでなく、学芸専門の職員が講師として講演会を実施したことで、目標値を上回ることができました。
4-2-3-3	文学館企画展示事業	拡充	多くの人が文学の魅力にふれる機会となる展示、イベント、ワークショップなどを開催します。	図書館（文学館）	年間展覧会観覧者数	22,148人	25,000人	22,259人	19,796人	30,469人	23,875人	27,066人	◎	文学館の開館10周年にあたる2016年度には過去最高の30,469人の来館者を記録し、市内外の方が文学館を広く知ることとなりました。年度により増減はありますが、リピーターも増え、全国各地から来館者があり、多くの人々に文学の魅力を伝えることができました。

事業番号	実施事業	区分	概要	所管課	指標	現状（2012年度）	目標（2018年度）	成果					達成状況	5ヵ年総括
								2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度		
取組4-2-4　図録などの刊行														
4-2-4-1	図録の刊行、展覧会関連物品の受託販売	拡充	展覧会における図録の刊行、展覧会に関連がある書籍・グッズの受託販売を行います。	図書館（文学館）	図録刊行点数、受託販売点数	図録1点、受託販売26点	図録1点、受託販売36点	図録1点、受託販売15点	図録1点、受託販売33点	図録1点、受託販売28点	図録1点、受託販売69点	図録なし受託販売52点	◎	2018年度は展示協力者の意向で図録を刊行しませんでしたが、2017年度までは毎年度秋の有料展で図録1点を刊行してきました。受託販売は、2017年度、2018年度と好調で目標を大きく上回る販売点数となりました。
4-2-4-2	自由民権資料館図書刊行事業	継続	研究交流誌「紀要」や、展示報告書「民権ブックス」などの図書の刊行・販売を行います。	生涯学習総務課（自由民権資料館）	図書刊行点数	3点刊行	12点（5年間）	2点	2点	3点	2点	4点 【5年間】13点	◎	定例で刊行している紀要・民権ブックスに加えて、市民協働により編集した史料集をはじめ、論考集・文書目録を刊行し、5年間で目標数を超える計13点を刊行することができました。

＜重点事業　5ヵ年総括＞

重点目標1　生涯学習を広める

重点事業1-1	若年層への学習機会の提供	所管課	生涯学習センター
事業概要	・生涯学習センターが実施する学習事業への参加が少ない10代・20代の若年層を対象に、生活課題や学習ニーズに応じたイベントや講座などの事業を実施します。 ・若年層向けや、異なる世代が交流できるイベントや講座などの企画・運営に、若年層の人が主体的に携わる機会を提供します。		
指標	若年層が企画・運営に携わるイベント、講座などの事業数		
目標値 （目標達成年度）	5事業（2018年度）		
5ヵ年総括	☑ 目標を達成できた　☐ 目標を達成できなかった		
	若年層が自らの興味や特技などを基に企画や提案、運営に携わる講座やイベントなどを2018年度に5事業実施し、目標を達成しました。		

重点事業1-2	学習機会の充実に向けた連携の強化	所管課	生涯学習センター
事業概要	学習機会を提供する関係機関が相互に課題や情報を共有し、連携・協力による事業を展開していくための連絡調整組織を設置し、連携を強化します。		
指標	連絡調整組織の設置		
目標値 （目標達成年度）	連絡調整組織の設置、運営（2015年度）		
5ヵ年総括	☑ 目標を達成できた　☐ 目標を達成できなかった		
	2015年度から2018年度まで市役所各課のイベント、講座等の担当者を対象とする生涯学習連絡会「お悩み解決LABO」を継続的に開催し、その成果として子ども家庭支援センターや子どもセンターでの学生団体との連携事業実施に結びつけることができました。		

重点事業1-3	生涯学習情報の充実	所管課	生涯学習センター
事業概要	幅広く行われている学習事業の中から、市民が自分に合った学習機会にめぐり合えるよう、学習情報を随時提供することができる生涯学習のポータルサイトを構築します。		
指標	生涯学習情報ポータルサイトの構築		
目標値 （目標達成年度）	構築完了（2015年度）		
5ヵ年総括	☐ 目標を達成できた　☑ 目標を達成できなかった		
	生涯学習情報を効果的に発信するため、町田市ホームページの掲載内容を見直すとともに「まちだ子育てサイト」との連携を開始しました。このことにより、子育て世代が家庭教育に関する情報を得ることに繋がりました。また、従前から、発行している町田市講座イベント情報誌「生涯学習NAVI 好き！学び！」は、紙面を改善し配布箇所の見直しを行いました。ポータルサイトの構築とは異なる形となりましたが、上記のように生涯学習情報の充実に努めました。		

重点事業1-4	学習成果を活かす仕組みの充実	所管課	生涯学習センター
事業概要	学習者が身に付けた知識や経験、技術などを地域で活かし、学習者が学び合う機会として、生涯学習センターまつりやフレッシュコンサートなどの開催、生涯学習ボランティアバンクの普及を行います。		
指標	生涯学習ボランティアによる活動件数		
目標値 （目標達成年度）	50件（2018年度）		
5ヵ年総括	☐ 目標を達成できた　☑ 目標を達成できなかった		
	5年間の実績では2015年度の29件が最高で、2018年度の活動件数は10件にとどまり目標を達成することはできませんでした。		

重点事業1-5	地域活動の支援	所管課	図書館
事業概要	地域の課題解決に取り組む団体に対し、レファレンス機能を活かして資料や情報の提供を行います。		
指標	支援の実施		
目標値 （目標達成年度）	段階的実施（2015年度）		
5ヵ年総括	☑ 目標を達成できた　☐ 目標を達成できなかった		
	鶴川駅前図書館では、2015年度から鶴川地区協議会が行う事業に関連する図書資料を提供するなど、図書館のレファレンス機能を生かした取り組みを行いました。2017年度からは、学校など地域で活動するボランティアを対象にした読み聞かせボランティア講座を行って、地域で行われている子ども読書活動を図書館が支援しました。また、2018年度からは、市民が地域で活動するための学習会「まちだ探・探（たん・たん）ゼミナール」を生涯学習センターと共に実施するなど、様々な取組を通じて、地域活動の支援を行うことができました。		

重点目標2　図書館の利便性を高める

重点事業2-1	ICタグの導入	所管課	図書館
事業概要	・文学館を含む図書館全館にICタグとカラーバーコードを使ったシステムを導入し、自動貸出機を設置します。併せて、図書館システムを更改します。 ・一部図書館にセルフ予約資料受取コーナーを設置します。		
指標	ICタグ、自動貸出機稼働		
目標値 （目標達成年度）	自動貸出の実施（2014年度）		
5ヵ年総括	☑ 目標を達成できた　☐ 目標を達成できなかった		
	2015年3月5日から、文学館を含む図書館全館にICタグとカラーバーコードを活用したシステムを導入し、文学館以外の図書館全館に利用者用のセルフ貸出機も設置しました。また、中央図書館、鶴川駅前図書館にセルフ予約資料受取コーナーを設置しました。		

重点事業2-2	地域のサービス拠点の整備	所管課	図書館
事業概要	忠生市民センターの建て替えに併せて、センター内に地域図書館として（仮称）忠生図書館を整備し、コミュニティ機能との連携を強化します。また、成瀬コミュニティセンターの建て替えに併せて、予約資料の受渡・返却コーナーを整備します。		
指標	（仮称）忠生図書館の開館		
目標値 （目標達成年度）	開館（2015年度）		
5ヵ年総括	☑ 目標を達成できた　☐ 目標を達成できなかった		
	2015年5月に忠生図書館を開館しました。また、成瀬コミュニティセンターでの予約資料の受渡・返却サービスを2016年7月1日に開始しました。		

重点事業2-3	地域資料の活用の推進	所管課	図書館
事業概要	これまで蓄積してきた地域資料のデジタルアーカイブ化 を進め、地域での活用を推進します。		
指標	イメージデータ作成点数		
目標値 （目標達成年度）	50,000点（2018年度）		
5ヵ年総括	☐ 目標を達成できた　☑ 目標を達成できなかった		
	他自治体における先進事例の状況や、財源確保のための補助金の制度の調査を行いました。また、地域資料をデータ化するための仕様書を作成し、予算規模を検討するなどしましたが、イメージデータを作成するまでには至りませんでした。		

重点目標3　文化資料の活用を推進する

重点事業3-1	遺跡の整備	所管課	生涯学習総務課
事業概要	整備が必要な市内の主要な遺跡の保存、公開に向けて、設計及び整備を行います。		
指標	高ヶ坂石器時代遺跡整備完了		
目標値 （目標達成年度）	高ヶ坂石器時代遺跡整備完了（2018年度）		
5ヵ年総括	☐ 目標を達成できた　☑ 目標を達成できなかった		
	高ヶ坂石器時代遺跡を構成する3ヶ所遺跡のうち、稲荷山遺跡は2016年度に整備工事が完了し、一般公開を行いました。牢場遺跡は2017年度に見学施設が完成し、一般公開を行うとともに用地買収を行いました。八幡平遺跡は敷石住居の復元展示と園路の一部が完成しましたが、四阿の建築及びガイダンス施設の設計・建設には至りませんでした。		

重点事業3-2	文学館の企画展示の充実	所管課	図書館
事業概要	魅力的な企画展示、関連イベント、ワークショップなどを企画・開催するとともに、各々の展覧会に合った広報活動を行います。		
指標	年間文学館展覧会観覧者数		
目標値 （目標達成年度）	25,000人（2018年度）		
5ヵ年総括	☑ 目標を達成できた　☐ 目標を達成できなかった		
	2018年度の観覧者数は27,066人となり、目標を上回る結果となりました。5カ年の成果としては、文学愛好者のニーズに応える本格的な文学展のほか、親子で楽しめる絵本原画展や文学の周辺領域としての写真・美術・漫画を取り上げた展覧会を実施することにより、様々な年代・嗜好の来館者を獲得することができました。		